

— Chain Rehabilitation
継ぎ目のないリハビリを届ける



札幌西円山病院 リハビリテーション部

リハビリテーション部の構成

✓ 5つの科, 総勢 170名超のスタッフ

リハビリテーション部

作業療法士：2名

理学療法科

理学療法士：74名

作業療法科

作業療法士：53名

言語療法科

言語聴覚士：39名

臨床心理科

臨床心理士：39名

活動支援科

レクワーカー：2名
音楽療法士：3名
健康運動指導士：3名
作業療法士：1名（兼任）



リハビリテーション部 スタッフ支援

✓ 長くキャリアを支援

- ・子育て支援（産休・育休取得のサポート，院内保育所）
- ・多彩な教育的活動
- ・後輩育成，外部講師，研究活動，留学制度 etc.の支援



臨床活動 —病棟専従制—

回復期病棟チーム（リハビリテーションセンター）

- 在宅復帰を目指し集中的なリハサービスを提供（2019年度リハ提供単位数7.1単位/日）
- 365日体制(PT・OT・ST)、シフト性

神経内科病棟チーム（神経内科総合医療センター）

- 短期入院からターミナルまで専門性の高いリハビリを提供
- 365日体制(PTのみ)、評価時の早出出勤(OT)

一般内科・療養チーム

- sub-acuteから終末期まで幅広い患者層を幅広い技術で支援

訪問リハビリ

- 回復期および神経内科病棟を退院された患者さんを中心に在宅生活を支援

施設リハビリ

- 生活リハビリを提供し、生活を送りながら心身機能やADL維持を支援



リハビリテーション部の教育

✓ 新人研修

入職後、3か月程度の新人研修プログラムを履修。

✓ 年次別教育カリキュラム

- 初期研修（0～1年）：研修療法士（スペシャリスト） 患者さんに独立して対応できる能力を身に付けます
- 中期研修（2～5年）：指導療法士（ジェネラリスト） 病棟とのチーム医療を推進できる能力を身に付けます
- 後期研修（6～10年）：管理療法士（プロフェッショナル） 組織を取りまとめていける能力を身に付けます

✓ 学会発表

リハビリテーション・ケア合同研究大会・日本慢性期医療学会・全国回復期リハ協議会研究大会・
日本慢性期リハビリテーション学会・日本作業療法学会・北海道作業療法学会・北海道病院学会・
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会・札幌市病院学会・溪仁会グループ研究発表会など（2019年度実績）

✓ 国内留学制度

現職のまま、国内の大学・大学院に入学し、修士・博士課程を学べます。入学金や授業料などは全額負担いたします

経験年次別教育カリキュラムスキーマ

初期研修（0～1年）：研修療法士

Basic Course

- ① 共通プログラム（0～1ヶ月目）
- ② 基礎プログラム（2～5ヶ月目）
- ③ 体験プログラム（0～1ヶ月目）

臨床見学型方式
模擬体験型方式

中期研修（2～5年）：指導療法士

Advance Course

- ① OJT（回復期・医療療養・介護療養・神経内科・訪問・通所）
- ② 症例報告（2年目）
- ③ 研究発表（3年目）
- ④ 学会発表（2年目：地方学会 3年目：全国学会）
- ⑤ 後輩指導（3年目：各プログラム講師）
- ⑥ 学生指導（4年目：臨床実習指導者）
- ⑦ 専従病棟リーダー（5年目）

クリニックラウンジ方式
屋根瓦方式

インターン指導

リハマネジメント

後期研修（6～10年）：管理療法士

Master Course

- ① 出向
- ② 職能団体での専門プログラム（認定・専門療法士）
- ③ 大学院での高等教育研修

地域の中での専門性の確立

管理能力の学習

基礎的・汎用的

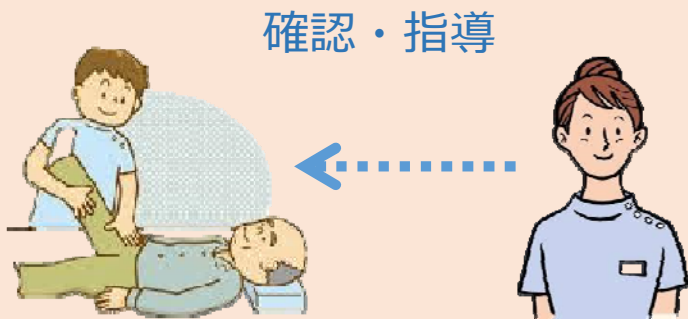
リハビリテーション講習会
ワークショップ
ケーススタディ
ラウンド（SV）
各種勉強会・研修会
基礎研究班

個別性

教育評価 Mini-CEX/CbD



実際の訓練場面:Mini-CEX



実際の訓練場面：指導内容確認・SV

ディスカッション

- ・直後に10分程度
- ・実施の背景等を確認
- ・良かった点, 改善のポイントをフィードバック

新人セラピスト：訓練内容の記録

フィードバック：CbD

- ・実際の記録をみながら一緒に確認
- ・15分以内

学会発表

2019年度リハビリテーション部 学会発表					
学会名	開催地	開催日	発表者	科	演題名
第4回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 北海道支部学術集会	札幌医科大学	2019/5/11	川中 拓摩	理学療法科	筋強直性ジストロフィー(MyD)に対する排痰補助装置(MI-E)の効果
第50回北海道作業療法学会	ロイトン札幌	2019/6/8-6/9	北村 晃次	作業療法科	当院回復期病棟における自宅退院因子の検討-自宅退院とサ高住退院の比較から-
第18回北海道病院学会	ロイトン札幌	2019/7/6	安岡 采耶	理学療法科	ニーズと治療のズレに難渋した大脳皮質基底核変性症の経験
第70回北海道理学療法士学術大会	帯広市民会館	2019/6/22-23	石橋 徹一	理学療法科	悪性腫瘍切除術後の二次的障害に脊髄性筋萎縮症の合併疑いで著しい機能低下を呈した症例への理学療法介入について
第69回日本病院学会	札幌コンベンションセンター	2019/8/1~8/2	三野 恭兵	理学療法科	免荷式トレッドミル歩行練習が服薬調整後のパーキンソン病患者に対する歩行と姿勢に及ぼす効果
			竹下 知	言語療法科	吸引ラインを使用して発声訓練をおこなった気管切開患者2症例
			齊藤 潤	言語療法科	当院言語療法科で実施した“働きやすさ調査”
第9回日本ロボットリハビリテーション・ケア研究大会	札幌国際ビル	2019/9/21-22	浅野 綾花	理学療法科	HONDA歩行アシストを使用し歩行訓練を行った症例の検討
第7回日本運動器理学療法学会学術大会	岡山コンベンションセンター 他	2019/10/5-6	三野 恭兵	理学療法科	Th12-L2 椎体圧迫骨折の受傷部位と足圧中心の関係-回復期病棟入院患者を対象に-
リハビリテーション・ケア合同研究大会2019	石川県立音楽堂 他	2019/11/21-22	桂川 和也	作業療法科	当院の回復期病棟退院患者における住環境整備状況の調査と整備着目点の検討
			荒田 遥	理学療法科	入院時の栄養状態がADLや退院先に与える影響-回復期病棟に入院する整形疾患の特性-
第61回全日本病院学会	名古屋		森川 佳菜	作業療法科	町内会での活動を通じた病院の在り方~地域リハビリ健診の導入と反省~
第27回日本慢性期医療学会	大阪国際会議場	2019/12/3-12/4	三和 成美	作業療法科	利用者ニーズを生活リハビリで実現する -介護医療院で入浴支援した一事例-
溪仁会グループ 研究発表	札幌コンベンションセンター		久保 智香	作業療法科	環境設定により離床範囲が拡大した前頭葉機能障害患者への関わり
			長谷川 晴菜	作業療法科	超高齢期の重度認知症患者の在宅支援 -誤りなし学習の試み-
			廣澤 桃	作業療法科	シーティング・環境設定により食事姿勢が改善した高齢脳性麻痺の一症例
			小路 英俊	作業療法科	生活期の患者様を支援するためのリハのあり方とは

※ 2019年度実績

地域に向けた活動

- ✓ 認知症カフェ
- ✓ 認知症サポーター養成研修
- ✓ リハビリ健診
- ✓ 災害ボランティア活動
- ✓ 医療公開講座



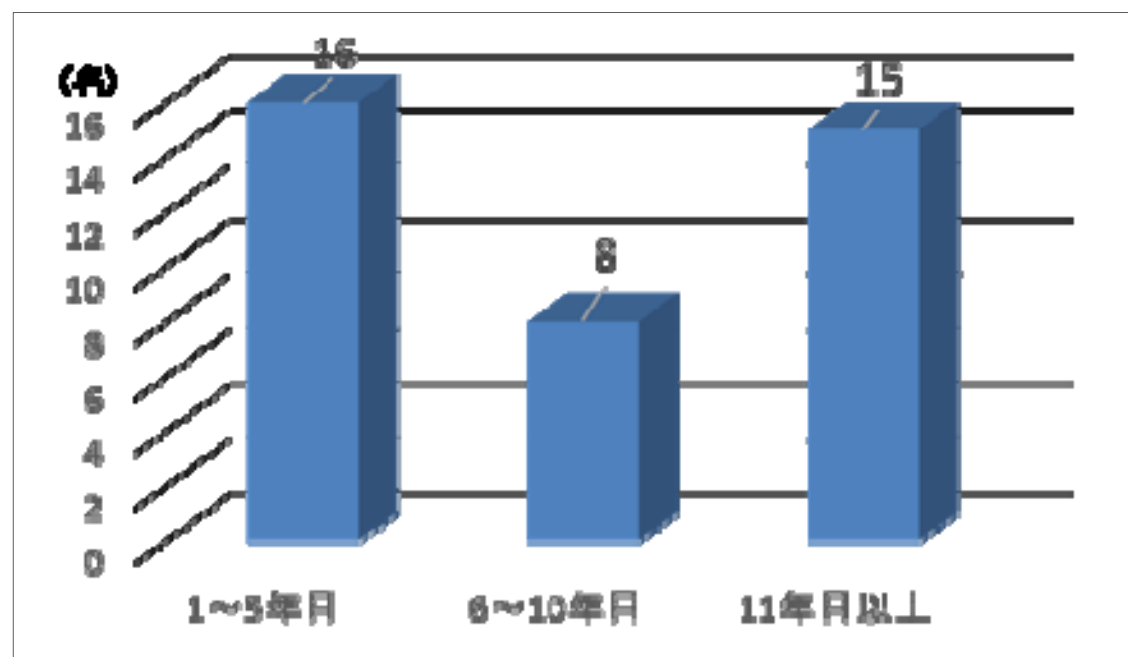
言語療法科の紹介

脳血管疾患などの後遺症により、コミュニケーションに問題のある方や、飲みこみ（摂食嚥下機能）に何らかの障害がある方などに対して、リハビリを行っています。今年度からは呼吸器疾患に対する支援も行っています。S T専用の個室は院内に12部屋設置されています。

言語聴覚士は39名（男11/女28）在籍しています（2020年9月現在）。先輩セラピストが多数いるため、若いスタッフへの臨床教育は充実しています。また、一人一人が勉強熱心で活気にあふれていることが大きな特徴です。



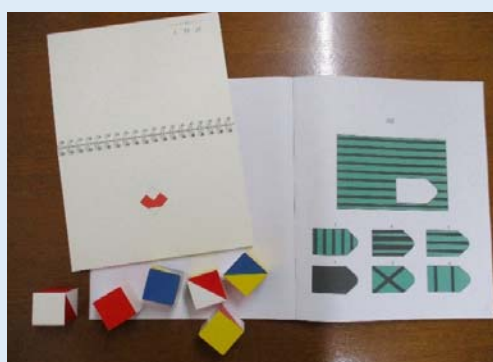
S T室の様子



経験年数別スタッフ数

コミュニケーション障害のリハビリ

「言葉を上手く話せない」「声が出しにくい」などの症状がある方へ、対処法を見出すため検査・評価を行い、必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行います。



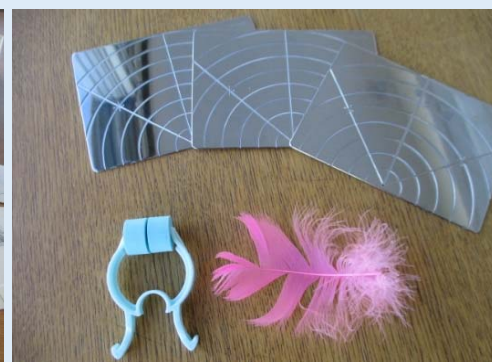
左：コース立方体検査
右：レーヴン色彩マトリシス検査



標準失語症検査



絵カード



鼻息鏡／ノーズクリップ

訓練教材の一部



カードポインティング



カード呼称



発声訓練



巻笛プレーイング

リハ場面

飲み込み(嚥下障害)のリハビリ

「食事でムセる」「食物がノドに残る」などの症状がある方へ、食事を安全に行なうための評価・治療を行っています。



左：健口くん (ディエトモニタリングの測定)
右：ネブライザー(不顕性誤嚥のテスト)



左：ピークフローメータ(咳の力を測定)
右：舌圧測定器(舌の運動機能)



左：咀嚼評価グミ
右：ぺこぼんだ



その他評価・訓練教材

教材の一部



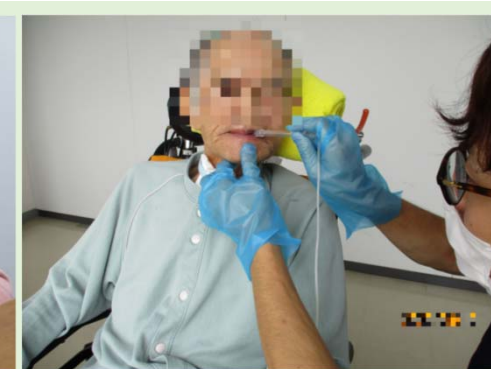
ハードブローイング



直接訓練



舌の抵抗訓練



舌圧の測定

リハ場面

VF・VE・摂食嚥下外来

嚥下障害の客観的評価として、嚥下造影（VF）や嚥下内視鏡検査（VE）を行っています。当院の特徴は細かな段階の食材を用意することで、より食事に近い状況で評価を行えます。また、地域の皆様が安全においしく食べ続けるお手伝いとして摂食嚥下外来を開設しており、医師・歯科医師・歯科衛生士・看護師・管理栄養士・放射線技師・言語聴覚士などの専門職が症状に応じて対応しています。



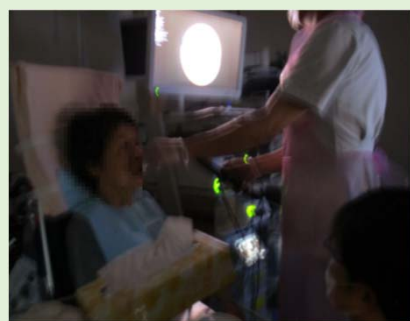
画像



食材

左から
 上段：トピなしジュース、全粥、鯛味噌
 中段：トピありジュース、米飯、麵つゆ
 下段：さんま蒲焼き、素麺、蒸しパン

嚥下造影検査（VF）



検査場面



食材

左から
 上段：米飯、舌でつぶせる食材、歯ぐきでつぶせる食材
 下段：全粥、舌でつぶせる食材、焼き鳥、さんま蒲焼き

嚥下内視鏡検査（VE）

せつしよく えんげ 摂食・嚥下障害の 診療・評価・検査を行います

当院では、高齢者に多い「摂食・嚥下障害（食べる・飲み込む障害）」を抱える方の診療・評価・検査や指導（飲み込み・栄養等）を行う外来を開設しております。地域の皆様が、安全においしく食べ続けるためのお手伝いをいたします。

- 【対象】
- 飲み込みにくいと感じる方
 - よくムせる方
 - 食事に時間がかかるようになり、体重減少が進んでいる方
 - 胃ろうの造設で迷われ、セカンドオピニオンを受けたい方
 - など、気になる症状がありましたらお気軽にお問合せ下さい。



【診療までの流れ】



【診療・評価・指導 担当】
 ○リハビリテーション科医、歯科医師、看護師、言語聴覚士、歯科衛生士、管理栄養士などの専門職が症状に応じて対応いたします。

- 【実施する検査の例】
- 嚥下内視鏡検査（VE検査）
鼻から細径の内視鏡（カメラ）を挿入し、食物ののどを通りを検査します。
 - 嚥下造影検査（VF検査）
X線透視下で、バリウムを混ぜた食材を食べていただき、のどを通りを検査します。



嚥下造影検査の様子

【お問い合わせ先】

電話番号：011-642-4121（代表）
 F A X：011-642-4291（代表）
 ※「摂食・嚥下の外来を受診希望」とお伝え下さい。
 受付時間：平日 8：45～17：15
 診療日時：毎週火曜日 PM（歯科：13：00～、内科：14：00～）
 ※完全予約制



札幌西円山病院

摂食嚥下外来リーフレット
 ＊詳しくは当院のホームページをご覧ください。



ピークフローメータによる咳の力の測定



ネブライザーによる不顕性誤嚥のテスト

摂食嚥下外来



患者さんの笑顔のために一緒に頑張りませんか？

共に働く仲間を待っています！！

